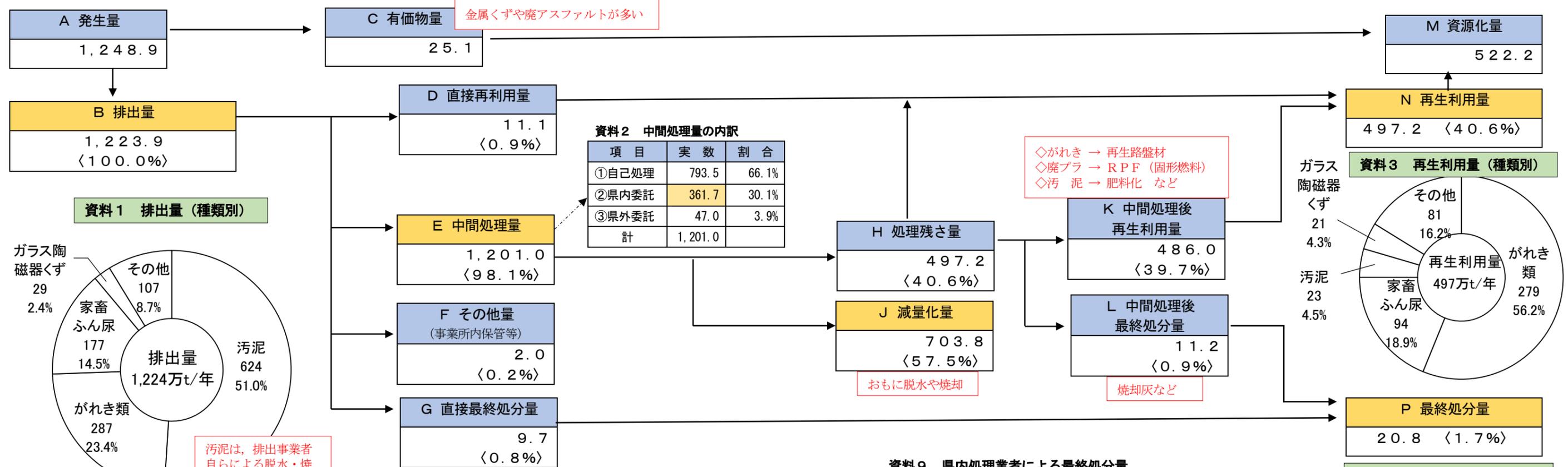


宮城県内における産業廃棄物処理の流れ 概要図 (H28年度推計結果)

(平成30年11月30日 第1回懇話会資料 単位: 万トン)

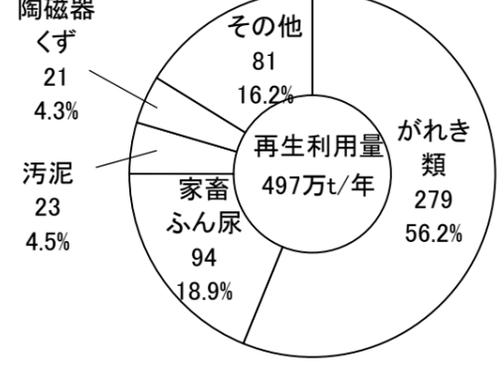


**資料2 中間処理量の内訳**

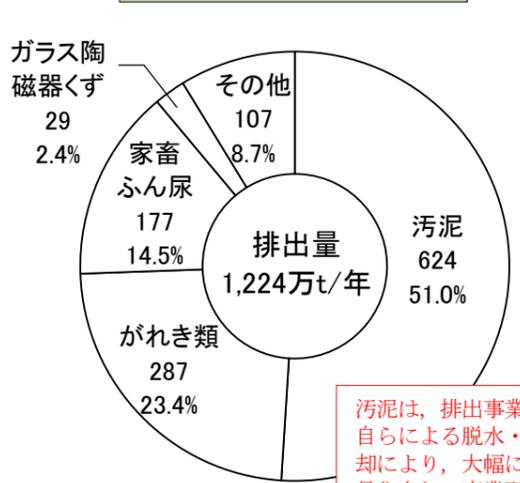
項目	実数	割合
①自己処理	793.5	66.1%
②県内委託	361.7	30.1%
③県外委託	47.0	3.9%
計	1,201.0	

◇がれき → 再生路盤材  
◇廃プラ → RPF (固形燃料)  
◇汚泥 → 肥料化 など

**資料3 再生利用量 (種類別)**



**資料1 排出量 (種類別)**



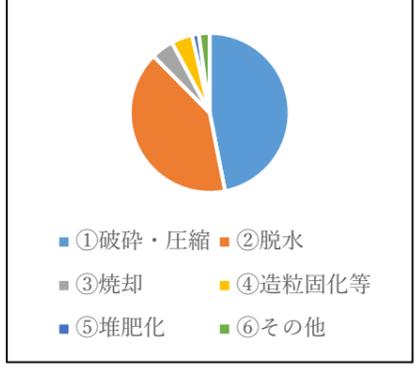
汚泥は、排出事業者自らによる脱水・焼却により、大幅に減量化され、事業所外への搬出量は8.2%

**資料9 県内処理業者による最終処分量**

項目	全量	割合	うち県内排出量	割合
①ガラコン	9.5	23.2%	5.6	32.9%
②廃プラ	7.6	18.5%	4.1	24.1%
③汚泥	6.5	15.9%	0.9	5.3%
④がれき類	6.1	14.9%	3.2	18.8%
⑤燃え殻	3.1	7.6%	0.9	5.3%
⑥その他	8.3	20.2%	2.3	13.5%
計	41.0		17.0	

うち県内搬入量 24.0

**資料7 中間処理の方法**



**資料6 県内処理業者による中間処理量**

〈自社処理は含まず、受託処理のみ〉

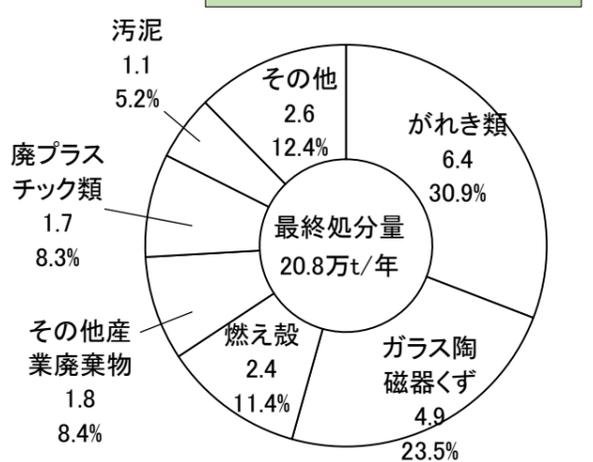
項目	実数	割合
①がれき類	127.0	40.2%
②汚泥	32.4	10.2%
③木くず	26.3	8.3%
④廃プラ	13.3	4.2%
⑤ガラコン	13.0	4.1%
⑥その他	104.1	32.9%
計	316.1	

他に県内搬入量 28.0

**資料8 県内の中間処理施設 設置状況 (H29.3末)**

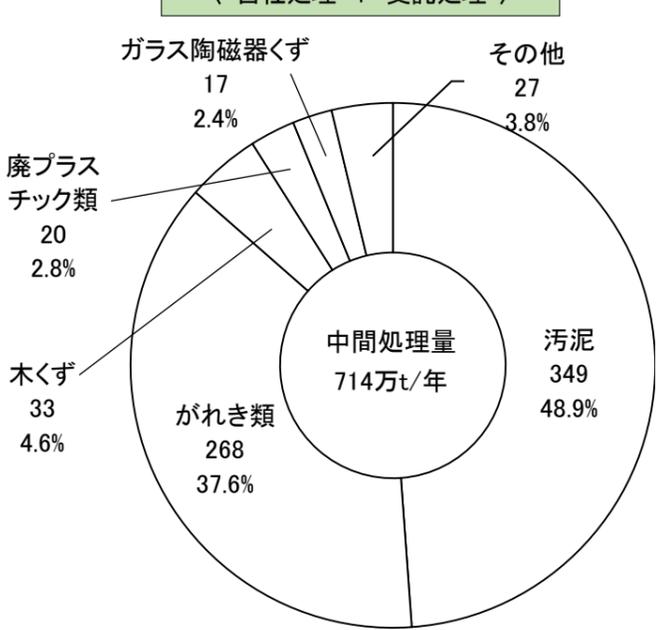
施設種別	宮城県	仙台市	計
①汚泥(脱水・乾燥・焼却)	38	17	55
②廃油の油水分離・焼却	7	4	11
③廃酸・廃アルカリの中和	0	0	0
④廃プラの破碎・焼却	63	14	77
⑤木くず・がれきの破碎	251	78	329
⑥有害汚泥のコンクリート固化	0	0	0
⑦その他焼却	10	0	10
⑧施行令7条以外	323	272	595
計	692	385	1,077

**資料4 最終処分量 (種類別)**



◇排出量調査では年間20.8万トンが最終処分され、うち19.9万トンが県内排出分。  
◇処理量調査では年間41万トンが県内で最終処分され、うち県内排出分は17万トンのみで、県外から24万トンが搬入され最終処分。  
◇クリーンプラザでは、県外からの受入は行わず、H28は年間約9万トンを最終処分。

**資料5 中間処理量 (種類別)**



【排出】	県内排出分	
	県内排出分	県外委託量
【処理】	県内排出分	県外から搬入分
	処理量 316.1	処理量 28.0

【排出】	県内排出分の	
	県内での最終処分量	県外での最終処分量
【処理】	19.9 (96%)	0.9 (<4%)
	県内排出 最終処分量 17.0 (41%)	県外から搬入 最終処分量 24.0 (59%)